

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201294
法人名	医療法人かとう内科
事業所名	都市型グループホーム『ゆう』
所在地	愛媛県今治市立花町2丁目 9 - 3 5
自己評価作成日	H 2 1 年11月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

母体であるかとう内科との連携があり医療面で充実していると思う

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

母体病院の栄養士の方が献立を立て、事業所で食材の買物に行き、食事作りをされている。水曜日は、利用者の希望のメニューとなっており「むかごごはん」等、利用者のリクエストやお好きなメニューを採り入れておられる。だしは、いりこ・昆布等を使用して、近くの農協で販売されている無農薬野菜や、庭先の畑で採れた野菜等も使用されている。調査訪問時、職員は「食べやすく切りましょうか？」等と利用者の様子を見ながら声かけて対応されていた。食事介助していた職員が席を立たれたら、他の職員がさりげなく介助に着いておられた。
 花の咲く季節にはドライブしながら、あちこちに出かける機会を多く作り、図書館や公園・市民の森等にも出かけておられる。今年は、しまなみミニ旅行(日帰り)も楽しまれた。利用者の中には、日帰りでご家族と温泉や芝居見物に出かける人もおられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 都市型グループホーム『ゆう』

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 秦 珠美(管理者)

評価完了日

H21 11月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 現在3つの理念を掲げているが、出来ている部分もあるが出来ていないところもある。 毎朝、申し送り時、皆で理念を唱和している。	
			(外部評価) 「話しやすく和やかな雰囲気作り」を事業所の理念に揚げて取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 1年に数回の行事のみの参加があるだけで、日常的な交流は難しい。散歩の時の挨拶くらいである。	
			(外部評価) 近くのスーパーに買い物に行かれたり、散歩時には、利用者の知り合いの方が声をかけて下さることもよくある。2ヶ月に1度、フラダンスのボランティアの方が来てくれる際には、近所の方4～5名の方が見に来られ、利用者と一緒に楽しまれている。市の福祉フェスティバルには、利用者手作りのカゴの作品や、利用者が育てている観葉植物等も出展された。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 福祉フェスティバルに近隣の施設での活動状況ということで 写真や作品を展示している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	
			利用者さんの状況報告、地域での行事の予定の提供、家族の方の評価、意見等を聞き、サービス向上に活かしている。	
			(外部評価)	
			会議には、民生委員・自治会長の他、ご家族・利用者の代表が交代で参加されている。利用者の近況報告をされ、出席者から地域の催しの情報等を教えてもらっている。民生委員の方からの、地域の独居老人や介護しているご家族への対応についての相談に応じられることもある。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者より連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	
			市町村担当者より日頃より連絡し、研修への参加など出来る限りのことはおこなっている。	
			(外部評価)	
			昨年の餅つきの際には、市の担当者の方にも参加いただいた。又、運営推進会議の議事録の様式をいただき使用されていた。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			玄関の施錠は行なっているが、出来る限り身体拘束をしないケアにとりくんでいる。	
			(外部評価)	
			前回の外部評価実施後、玄関のオートロックの解除について施設長を含めて話し合いをされたが、「利用者が自由に外に出ると危険が高い」ということで、現在も玄関に施錠されていた。ご自分でロックを解除して花の水やり等に出られる方もあり、天気の良い日には、何時間か開放されることもある。又、転倒防止の為、車椅子に安全ベルトをされたり、ベット柵を使用している方も見られる。県GH協議会主催の身体拘束の研修に職員は参加して、内容は全職員に回覧されている。	鍵をかけないような対応への工夫はされているだろうか。鍵をかけることが常態化していないか点検されてはどうか。身体拘束についての勉強を重ね、安全で自由な暮らしを提供できるような方策の検討を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修等に参加し、資料を回覧している。 お互いの意見、介護方法など日頃よりよく話し合い虐待の無いよう努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修にはなるべく参加し、制度の理解に努め活用できるところはお願いをする。1名、成年後見制度を活用していたが10月18日心筋梗塞により死亡され退所となる。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者、ケアマネ、ユニット長など中心に話し合い、関係者との理解、説明に取り組んでいる。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族からの申し出を随時面談し、声に耳を傾け、改善に向けた努力をしている。 (外部評価) 忘年会時には、ご家族も一緒にゲームや食事を楽しむよう案内されている。利用者の日頃の様子等はご家族の来訪時や電話で報告し、意見や要望等も聞いておられる。	ケアマネージャーは「来訪されにくいご家族に、文章で日頃の様子を伝えるような取り組みをすすめていきたい」と考えておられた。ご家族の協力を得て実施されている外部評価でもあり、家族アンケートの結果を知りたいご家族もあるのではないだろうか。この機会に事業所のサービスについて具体的に意見を聞かれたり、事業所のさらなる質の向上に向けて、事業所自身が「今後どのように取り組んでいくのか」ということを伝えていかれてはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>話し合いの機会を随時作っている。 昼休み等利用し話し合う時間を作っている。 申し送りノートにて意志疎通を図っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>毎月行われるカンファレンスには、代表者も出席されている。職員のアイデアで畑にベンチを設置されたり、お風呂場に椅子を新たに購入する等、利用者が使いやすいように改善されている。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>1ヶ月に1回のカンファレンスや行事の後等で職員の様子や意見を聞いて、研修への参加を促したり、親睦会にて日々の労をねぎらう等を行なっている。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>各種資格に応じた研修への参加に努めている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>他のGHとの情報交換、研修等で活動の場を広げ交流を図っている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>自室、落ち着く場所にて不安、訴えなどの傾聴に努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ケアマネを中心に家族からの要望に気を配り、不安の解消を図り、安心して預けられるような関係づくりに努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 出来ることは一緒に手伝ってもらいながら一方の立場におかないようにしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会や電話の取次ぎにて関係が切れないよう支援につとめている。 (外部評価) ご本人の希望に応じて、鍼灸院への送迎やお墓参り等を支援されており、利用者が気にされる「以前住まわれていた家」の様子を庭先まで見に行かれることもある。法人デイケアから知人が訪ねて来てくれ、おしゃべりしながらひと時を過ごされることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	職員が間に入ってコミュニケーションをとれるようにしたり、数名ずつ散歩に行ったり、畑の作業をしたり、ゲームをしたりしている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	入居者の嗜好品、声、やりたいことを聴いて記録に努め、申し送りノートにて案を募っている。
			(外部評価)	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	個々の状態、考え方、生活歴を考慮し出来る限りそれに沿った生活を営んで頂いている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	個人の能力に合わせたプランと無理の無い生活を行なって頂いている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			2ヶ月に1回のモニタリング、6ヶ月に1回の計画の見直し。心身に大きな変化ある場合は、その都度状態に応じたプラン作成を行なっている。	
			(外部評価)	
			介護計画は、職員で話し合い立案後、ご家族に提示して意見を聞くようにされている。2ヶ月に1度、モニタリングを行っておられ、「満足度」について5段階で評価して、今後の対応や課題について話し合われている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			個別記録に記入し職員間で話し合いやカンファレンスをしている。情報の共有化に努め、ケアプラン実施表にて日々の情報を共有、反省に到る。	
			(外部評価)	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			月2回Hp受診とDr往診の実施。 心身状態の見極め、訴えを考慮して適切な処置を行なっている。眼科や耳鼻科等への受診の送迎実施。	
			(外部評価)	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			毎月1回は図書館へ共に行き、紙芝居や読みたい本等を借りている。 地域のイベントに参加するよう励まし、楽しんでいる。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)		
				主治医はかとう内科。心身の状態をみて、他の医療機 関関係等にも受診の支援を行なっている。	
			(外部評価)		
				ご家族が受診に付き添うようになっている。利用者は 毎週、定期的に法人医師による往診・受診を受けてお られる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)		
				職場内の看護職員に報告し、又、夜にはDrに報告し ている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)		
				入院時には必ず面会に行っている。Hp関係者との情 報交換、相談、情報提供に努めている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)		
				主治医と良く話し合いGHで見れる範囲でケアを行 い、Drの判断で入院措置をとっている。	
			(外部評価)		
				ご家族には看取りの希望について聞いておられる。ご 家族や利用者は、事業所での看取り支援を希望される 方が多い。状態変化時等、母体病院の医師がご家族と 話し合うようになっており、相談の結果、入院となる ことが多い。	さらに、ご家族や医師と協力しながら、ご本人を最期 まで支えることができるような体制作り等もすすめて いかれてはどうだろうか。又、ご家族やご本人が、心 配や不安に思われていることはないか聞き取るような 機会も作ってはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルはあるが全員が対応できるかは疑問である。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の避難訓練、消防訓練にてスタッフの意識を高めている。夜間を想定しての避難訓練も実施。地域との協力体制はあまり望めない。 (外部評価) 避難訓練は、年2回実施されており、消防署の協力を得た訓練と事業所で自主訓練を実施されている。前回の外部評価実施後に、夜間を想定した自主訓練を実施された。今後は、近々、スプリンクラー設置工事や、2階エレベーター停止時に備えて階段からシートを使用した訓練も実施する予定となっていた。	車椅子を使用されている方等も多く、夜間時の避難対応等、不安な点もあるだろうが、地域の方等の協力も得ながら利用者、職員の安心と安全に向けた取り組みを重ねていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) プライバシーの確保にできるだけ努めている。 (外部評価) 管理者は、職員に「利用者の声をよく聞くよう」話しておられる。お化粧をする前やご自分の洗濯物を見られたくないと思われる利用者もあり、職員は、利用者の気持ちを大切に対応できるよう努めておられる。	職員は「利用者に対し時に馴れ馴れしい言葉使いをする時もあり、気をつけたい」と話されていた。職員の気付いたことは、事業所の質向上に向けての最大の起点でもある。この機会に職員の利用者への対応等について、ご家族や運営推進会議のメンバーの方等のご意見も聞きながら、点検してみる機会とされてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者さんの希望がすべて聴けるわけではないが、話は聴いたり、自己決定できるように心掛けています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースに合わせる努力はしているが、希望に全てそえるのはむづかしい。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) わかる人は、自分の好みの洋服を着てもらおう。そうでない人にはスタッフが選び清潔な身だしなみをしてもらっている。たまに化粧や髪飾りもする。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 施設の畑での収穫。野菜切りや皮むき。茶碗、鍋、お盆拭きなど出来ることはやってもらっている。 (外部評価) 母体病院の栄養士の方が献立を立て、事業所で食材の買物に行き、食事作りをされている。水曜日は、利用者の希望のメニューとなっており「むかごごはん」等、利用者のリクエストやお好きなメニューを採り入れておられる。だしは、いりこ・昆布等を使用して、近くの農協で販売されている無農薬野菜や、庭先の畑で採れた野菜等も使用されている。調査訪問時、職員は「食べやすく切りましょうか？」等と利用者の様子を見ながら声かけして対応されていた。食事介助していた職員が席を立たれたら、他の職員がさりげなく介助に着いておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 1週間に1度、体重測定をし、増減を確認している。水分量は1日を通じて確保できるようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、洗面所に誘導し自分で出来る人は自分で、介助が必要な人にはスタッフが口腔ケアしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄リストを見て、個々の排泄のパターンの把握し定期的にトイレ誘導している。	
			(外部評価)	
			記録等で利用者個々の排泄パターンの把握に努め、声をかけて誘導されている。皮膚の弱い方は臀部の清潔に努めて、かぶれないように配慮されている。夏場は、出来るだけ布パンツで過ごせるよう取り組まれた。車椅子でトイレまでお連れして、排泄後にはご本人がトイレ内に設置されたブザーで職員を呼ぶような方もある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			水分、バナナ、ヨーグルト、お腹マッサージなどで自然に排便できるよう努めている。	
			(外部評価)	
			午前中から入浴可能として、入浴時間の幅を設けている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			お風呂は毎日入浴できるように準備されている。入浴剤を使用されたり、お風呂好きな方にはかけ流しで温泉気分を味わっていただくこともある。入浴が嫌な方には、散歩から帰った時やトイレに立たれた時等のタイミングを捉えて、すすめておられる。	
			(外部評価)	
			入浴、散歩、昼寝等個々のADLにあわせて作業や訓練を行なっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 食後、スタッフが責任をもって服用してもらっている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 好みのパズルをしたり、手すりをもって屈伸運動したり、日光浴と各自が興味あることをしている。又、梅干、ココア等好みの食材を買って食している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) インフルエンザ流行時なので外出、家族との面会も控えている。	
			(外部評価) 現在、インフルエンザの流行もあり、法人医師の指示により外出を控えておられる。花の咲く季節にはドライブしながら、あちこちに出かける機会を多く作り、図書館や公園・市民の森等にも出かけておられる。今年は、しまなみミニ旅行(日帰り)も楽しまれた。利用者の中には、日帰りでご家族と温泉や芝居見物に出かける人もおられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる人は自分で、少し難しい人は職員が管理し、必要な物を購入している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は希望すれば番号を押して利用してもらっている。手紙も自由にやり取りしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	玄関、洗面所、リビングに花や緑置いている。リビングには、1ヶ月ごとに季節を表わした手作りカレンダーを飾っている。	
			(外部評価)	居間や廊下の壁には、利用者が挑戦された小さなパズルの作品がいくつか掛けられてあった。又、利用者の折り紙の作品やちぎり絵等も飾られている。ウッドデッキの中庭や窓側には観葉植物も多く配され、食後に、金魚の世話をされる利用者の姿も見られた。居間は床暖房で、足もとが暖かく、椅子の足には古いテニスボールを利用し、消音の工夫をされていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	リビングの長いすには気の合った者2,3人が座り会話していることあり。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	馴染みの布団、枕、タンス等、持って来たい方は持ってきてもらっている。	
			(外部評価)	調査訪問時「私の部屋に来て見て」と誘って下さった利用者の居室には、ご本人が折った折り紙の作品やひ孫さんの書いた絵や大切に育てられている観葉植物等もあり、それぞれへの思いを聞かせていただいた。タンスや鏡・冷蔵庫やテレビ・人形・カレンダー等、利用者個々に馴染みのものや手作りの作品等が見られ、ご本人が居心地良く過ごせるように、職員やご家族がご本人に関わっておられる雰囲気が感じられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	貼り紙により、自分の部屋やトイレの確認。歩行不安定な方は手押し車、オパルを使用してもらい常に見守り、使用の声かけをする。	
			(外部評価)		